

環境活動レポート

2016年度版

活動期間：2016年4月～2017年3月



近畿地区スバルグループ

大阪スバル株式会社
京都スバル自動車株式会社
滋賀スバル自動車株式会社
兵庫スバル自動車株式会社

作成：2017年 7月20日

【1】 会社概要

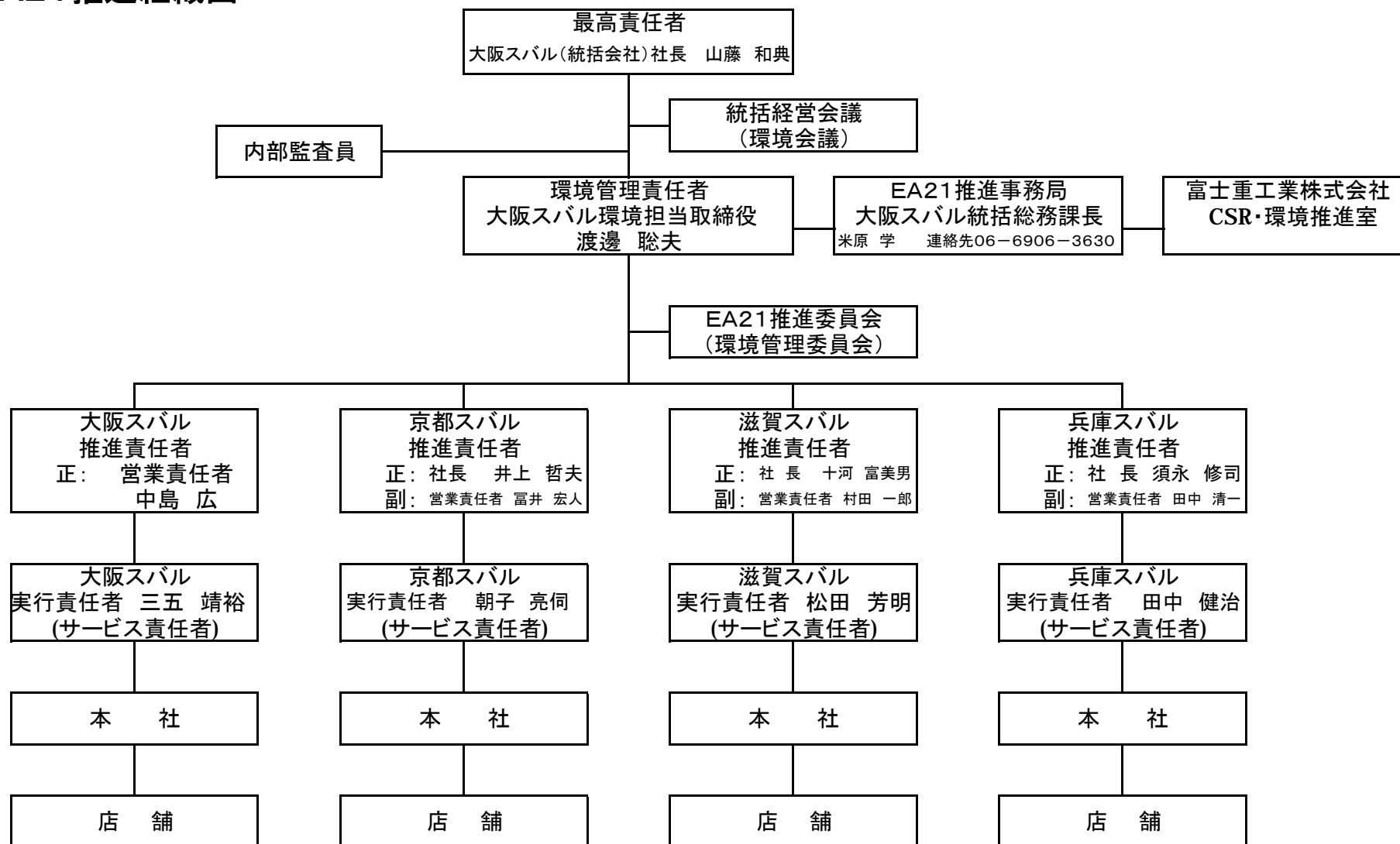
事業所名	近畿地区スバルグループ 総計	大阪スバル株式会社 (統括会社)	京都スバル自動車株式会社	滋賀スバル自動車株式会社	兵庫スバル自動車株式会社	
所在地	大阪府守口市八雲東町1-21-23	大阪府守口市八雲東町1-21-23	京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町5	草津市野路4-7-2	神戸市灘区岩屋中町2-2-7	
代表者氏名	大阪スバル(株)代表取締役社長 京都スバル自動車(株)取締役会長 滋賀スバル自動車(株)取締役会長 兵庫スバル自動車(株)取締役会長 山藤 和典	代表取締役社長 山藤 和典	代表取締役社長 井上 哲夫	代表取締役社長 十河 富美男	代表取締役社長 須永 修司	
事業の規模	売上高	63,665百万円	30,232百万円	7,828百万円	6,191百万円	19,414百万円
	新車販売	17,844台	8,311台	2,260台	1,811台	5,462台
	中古車販売	11,727台	5,370台	1,369台	1,162台	3,826台
	従業員数	1,108名	537名	137名	115名	319名
	事業所数	77店舗	36店舗	10店舗	8店舗	23店舗
		新車	59店舗	26店舗	8店舗	7店舗
	中古車	16店舗	8店舗	2店舗	1店舗	5店舗
	その他	2店舗	2店舗	—	—	—

※売上、販売台数は2016年度実績、従業員数は2017年3月末日、店舗数は5月末現在

事業活動内容

- | | | |
|-----------|---------------|---------------------|
| ①自動車の販売 | ③部品・用品の販売及び修理 | ⑤損害保険代理業 |
| ②中古自動車の販売 | ④自動車の修理 | ⑥自動車損害賠償保険に基づく保険代理業 |

EA21推進組織図



【2】 環境方針

環 境 方 針

《基本理念》

当社は独創と先進の開発コンセプトでお客様からご好評をいただいているスバル車の普及と「ご愛用者に充実したカーライフを安心して楽しんで頂くためのサービスの提供」を企業目的としています。

当社はこの企業目的を遂行していく中で、企業として果たすべき責任が数多くあることを認識していますが、今や、環境問題が第一にランクされるべき責任と理解しています。

当社は「循環型社会の形成に貢献する近畿スバルグループ」として地球環境の保全を考えながら地域社会と地域の人に優しい環境づくりに努め、豊かな未来の実現に寄与することを目指します。ここに循環型社会の形成は私たち企業市民に課せられた使命と認識し、継続的な環境保全に努めることを宣言します。

《基本方針》

この理念のもと、当グループが行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務、産業用車両・機械の販売および修理に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO2削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
2. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
3. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当グループが同意するその他の要求事項を遵守します。
4. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行ないます。
 - ①環境負荷低減に資する商品の販売推進
 - ②省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
 - ③省資源（水使用量、紙使用量）
 - ④廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ⑤化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
 - ⑥グリーン購入の推進
5. この環境方針をグループ全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2015年4月1日

大阪スバル株式会社

（近畿地区スバルグループ統括）

代表取締役社長 山藤 和典

【3】 2016年度環境目標



当グループは環境負荷が大きい《エネルギー使用量》の把握をし、削減活動に繋がります。削減目標は各目標項目毎に毎年度1%に設定し、特に電力並びにガソリンについては、各社別の削減目標を設定し取り組みます。

- ・電力使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.3%、京都:△0.7%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.3%)
- ・ガソリン使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.3%、京都:△1.0%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.2%)

また、本来業務である整備業務において、環境負荷低減に繋がる営業活動を行います。

- ・点検パックの付保率について各社別に毎年度1%~3%向上
- ・ハイブリッドフィルムの装着率について各社別に毎年度1%向上

(1) 環境負荷の状況及び環境目標

【近畿地区スバルグループ】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	85.8%	+1.2%、1.1%	87.1%	88.3%	89.4%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	7.6%	8.6%	9.6%	
電気使用量	Kwh	6,803,539	-1.2%	6,722,069	6,550,076	6,469,138	
燃料	ガソリン	リットル	769,119	-1.2%	759,642	761,877	752,217
	灯油	リットル	5,801	-1.0%	5,743	5,470	5,414
	軽油	リットル	50,096	-1.0%	49,596	48,479	47,985
	LPG	m3	6,314	-1.0%	6,251	6,171	6,107
	都市ガス	m3	84,215	-1.0%	83,373	82,697	81,853
水使用量	m3	52,478	-1.0%	51,953	52,846	52,308	
産業廃棄物	トン	1,000.0	-1.0%	990.0	979.2	968.8	
一般廃棄物	トン	159.8	-1.0%	158.2	156.9	155.3	
化学物質	kg	242.3	-1.0%	239.9	130.6	129.3	
グリーン購入	%	59.5%	+1.0%	60.5%	61.5%	62.5%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	5,761,034	-1.2%	5,692,144	5,600,465	5,531,457	

【大阪スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	84.4%	+1.0%	85.0%	86.0%	87.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	10.0%	11.0%	12.0%	
電気使用量	Kwh	3,590,264	-1.3%	3,543,591	3,496,917	3,450,244	
燃料	ガソリン	リットル	317,813	-1.3%	313,681	309,550	305,418
	灯油	リットル	738	-1.0%	731	723	716
	軽油	リットル	5,837	-1.0%	5,779	5,720	5,662
	LPG	m3	206	-1.0%	204	202	200
	都市ガス	m3	13,124	-1.0%	12,993	12,862	12,730
水使用量	m3	26,681	-1.0%	26,414	26,147	25,881	
産業廃棄物	トン	424.5	-1.0%	420.2	416.0	411.7	
一般廃棄物	トン	69.2	-1.0%	68.5	67.8	67.1	
化学物質	kg	44.8	-1.0%	44.4	43.9	43.5	
グリーン購入	%	57.9%	+1.0%	58.9%	59.9%	60.9%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,690,391	-1.3%	2,655,558	2,620,719	2,585,886	

【京都スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	89.7%	+1.0%	91.0%	92.0%	93.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	6.0%	7.0%	8.0%	
電気使用量	Kwh	730,855	-0.7%	725,739	720,623	715,507	
燃料	ガソリン	リットル	99,426	-1.0%	98,431	97,437	96,443
	灯油	リットル	805	-1.0%	797	789	781
	軽油	リットル	9,303	-1.0%	9,210	9,117	9,024
	LPG	m3	5,554	-1.0%	5,498	5,443	5,387
	都市ガス	m3	26,609	-1.0%	26,343	26,077	25,811
水使用量	m3	5,726	-1.0%	5,669	5,611	5,554	
産業廃棄物	トン	220.2	-1.0%	218.0	215.8	213.5	
一般廃棄物	トン	29.8	-1.0%	29.5	29.2	28.9	
化学物質	kg	88.5	-1.0%	87.6	86.7	85.8	
グリーン購入	%	56.9%	+1.0%	57.9%	58.9%	59.9%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	735,948	-0.8%	729,756	723,563	717,369	

【滋賀スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検バック付保率アップ	%	81.1%	+3.0%、2.0%	85.0%	88.0%	90.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	5.0%	6.0%	7.0%	
電気使用量	Kwh	863,567	-1.0%	854,931	631,499	625,055	
燃料	ガソリン	リットル	74,095	-1.0%	73,354	64,465	63,807
	灯油	リットル	2,595	-1.0%	2,569	2,328	2,304
	軽油	リットル	8,867	-1.0%	8,778	8,074	7,992
	LPG	m3	194	-1.0%	192	171	169
	都市ガス	m3	97	-1.0%	96	95	94
水使用量	m3	5,607	-1.0%	5,551	4,367	4,322	
産業廃棄物	トン	66.7	-1.0%	66.1	44.7	44.2	
一般廃棄物	トン	20.9	-1.0%	20.6	18.9	18.7	
化学物質	kg	109.0	-1.0%	107.9	—	—	
グリーン購入	%	58.7%	+1.0%	59.7%	60.7%	61.7%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	661,722	-1.0%	655,107	513,247	508,008	

【兵庫スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検バック付保率アップ	%	88.2%	+1.0%	90.0%	91.0%	92.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	5.0%	6.0%	7.0%	
電気使用量	Kwh	1,618,853	-1.3%	1,597,808	1,701,037	1,678,333	
燃料	ガソリン	リットル	277,786	-1.3%	274,175	290,425	286,548
	灯油	リットル	1,663	-1.0%	1,646	1,630	1,613
	軽油	リットル	26,090	-1.0%	25,829	25,568	25,307
	LPG	m3	361	-1.0%	357	354	350
	都市ガス	m3	44,385	-1.0%	43,941	43,663	43,217
水使用量	m3	14,465	-1.0%	14,320	16,721	16,551	
産業廃棄物	トン	288.7	-1.0%	285.8	302.8	299.3	
一般廃棄物	トン	40.0	-1.0%	39.6	41.0	40.6	
化学物質	kg	—	-1.0%	—	—	—	
グリーン購入	%	63.1%	+1.0%	64.1%	65.1%	66.1%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,672,974	-1.3%	1,651,732	1,742,935	1,720,194	

※電気使用量のCO₂排出量の排出係数は関西電力公表の0.531にて算出。

※産業廃棄物は廃油、廃バッテリー、廃バンパーを含まない。

※化学物質はエチルベンゼン、トルエン、キシレンを対象としています。兵庫スバルは板金整備工場がない為、目標値の設定
滋賀スバル板金工場は2017年3月末閉鎖の為、2017年度、2018年度目標値はない。

※2017.3末で滋賀スバルの2店舗が閉鎖し、兵庫スバルが1店舗増設となった為、2017年度目標、2018年度目標を変更した

【4】2016年度環境活動計画の内容

2016年度は2015年度の結果を踏まえ3ヵ年計画として以下の取組みを実施してまいりました。

(1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売推進

①点検パック付保率アップ

商談時において点検パックの加入促進を図り、お客様のお車に適正なメンテナンスを実施し、整備不良等による環境負荷増加を防ぎます。

②ハイブリッドフィルム装着率アップ

新車販売時にハイブリッドフィルムの装着を提案し、赤外線（熱線）カットによるより効率的なエアコンの使用となり燃料消費量を抑えることで環境負荷の低減を目指します。

(2) 電気使用量削減

全社にて以下の取組みを実施し、使用量削減、目標達成を目指します。

- ・事務所、工場の照明や設備・機器の節電
- ・広告塔照明・外構照明・ショールームオープン時間短縮の継続（20：00→19：00）
- ・クールアースデー ライトダウンキャンペーンへの参加
- ・クールビズ運動の実施（5月～10月）
- ・冷暖房室温管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）
- ・エアコンフィルターの定期的な点検・清掃の実施
- ・店舗ショールーム・事務所・工場照明のLED化推進

(3) 燃料使用量の削減

CO₂排出に大きく影響するガソリンを中心に以下の取組みを推進し、使用量削減に繋がります。

- ・TV会議の更なる有効活用
- ・効率的な営業活動、納車、引き取りの実施
- ・社用車（代車、試乗車）の運行管理の徹底
- ・店舗毎のガソリン使用用途別管理の徹底
- ・個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・エコ安全5か条推進（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速少ない運転、余裕をもった車間距離、細やかな空気圧チェック）

又、効率的なキャリヤカーの使用による軽油使用量の削減や灯油、都市ガス、LPGガスについても更なる取組意識の強化を図り、使用量を削減していきます。

(4) 水道水使用量削減

以下の取組みを継続推進することで使用量の削減を図ります。

- ・洗車、工場清掃、洗濯時の使用配慮等拠点節水意識の強化
- ・店舗別使用実績管理の徹底
- ・門型洗車機入替時に節水タイプを導入（4店舗）
- ・トイレ自動手洗いの導入推進

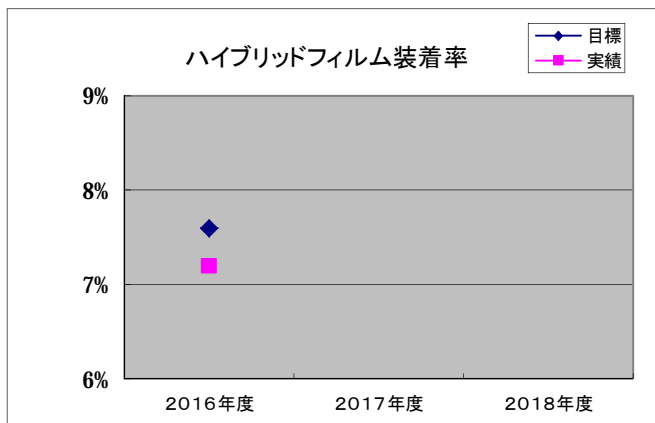
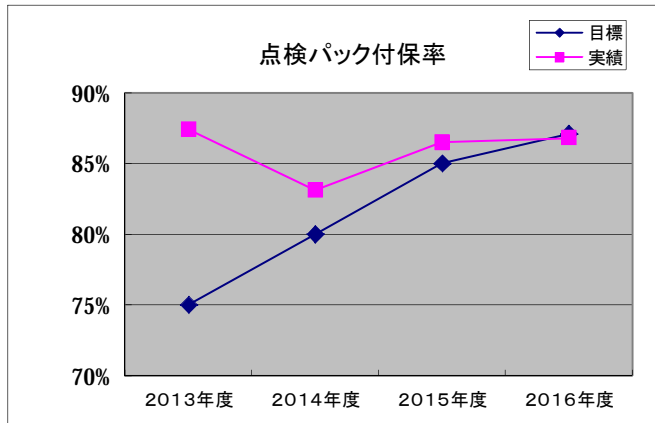
(5) 産業廃棄物の削減

以下の取組みを推進し排出量の削減に繋がります。

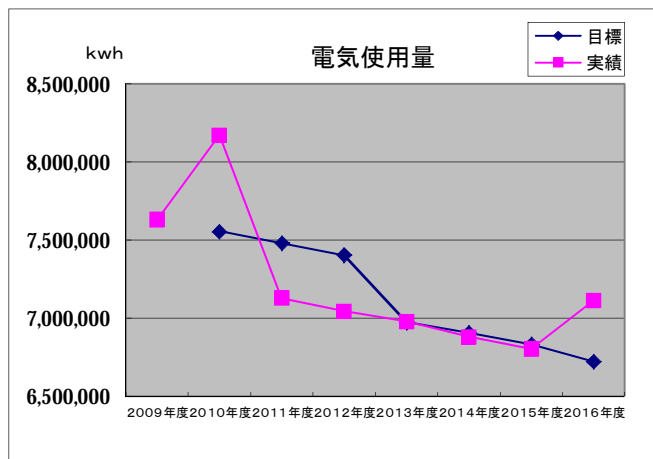
- ・分別再資源化の取組みの徹底
- ・各社別、各店舗別の削減目標の設定と進捗管理
- ・廃バンパー、廃バッテリー、廃アルミホイールの有償販売の定着

- (6) 一般廃棄物の削減
紙の使用量については、引き続き i Pad を活用した会議資料のペーパーレス化を推進し、また給与明細のWEB化を図る等使用量削減に繋がる取組みを進めていきます。
- (7) 化学物質使用量の削減
鍍金塗装における水性塗料の使用頻度を増やすと同時に、無駄のない適正在庫管理の徹底やメカニックの技術力向上を図り、化学物質（エチルベンゼン、トルエン、キシレン等）の使用量削減に繋がります。
- (8) フロン排出抑制
店舗におけるエアコンについて日常的、定期的な点検を実施し、効率的な使用、フロン漏洩防止に繋がります。
- (10) 環境関連法規制の遵守
環境関連法規制並びに環境に対する社内基準に未遵守がないよう取組みます。
- (11) グリーン購入について
店舗別に事務用品を中心としたグリーン商品購入数値目標を設定し、意識的にグリーン購入を推進していきます。
- (12) 環境教育の実施
新任の店舗責任者や管理職、新入社員への環境教育を継続的に実施し、グループ全体の環境意識の底上げを図っていきます。
- (13) 二酸化炭素排出量の削減
2016年度は上述の取組みを推進する中、特にCO₂排出量への影響大きい電力、ガソリンの使用量と本来業務に基づく目標である点検パック付保率、ハイブリッドフィルム装着率を重点目標とし、社内環境教育の強化に注力し、近畿地区スバルグループ全体のCO₂削減目標の達成を目指します。

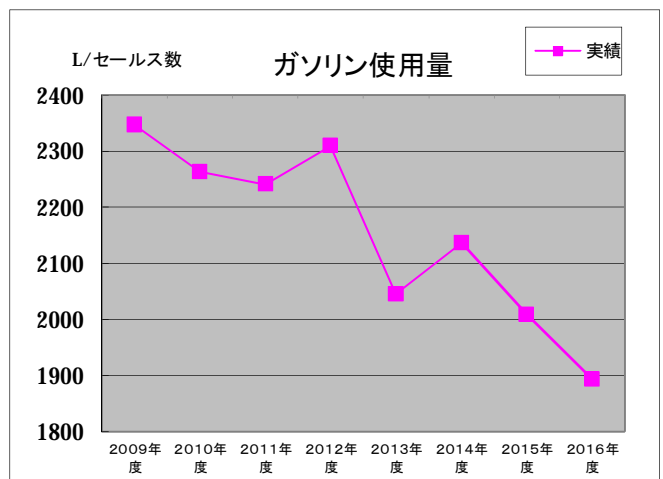
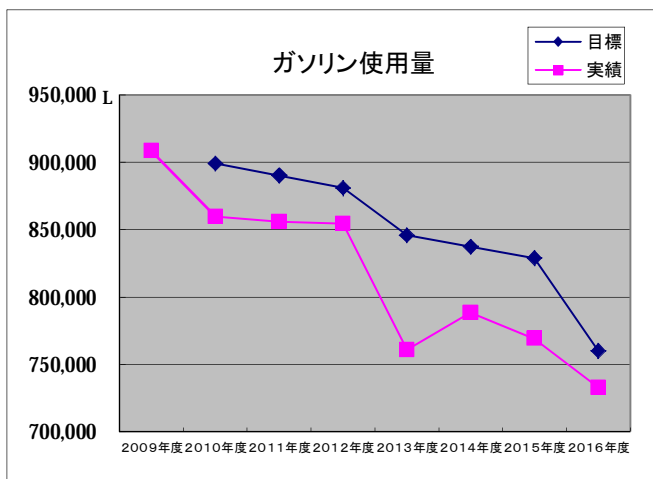
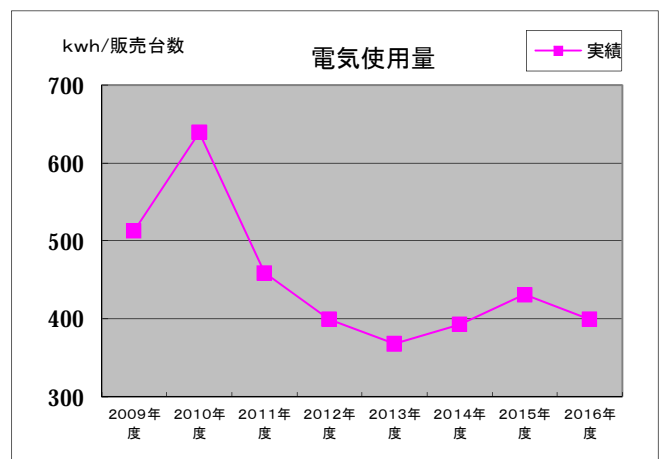
【6】近畿地区スバルグループ主要環境目標実績推移(2009年度～2016年度)

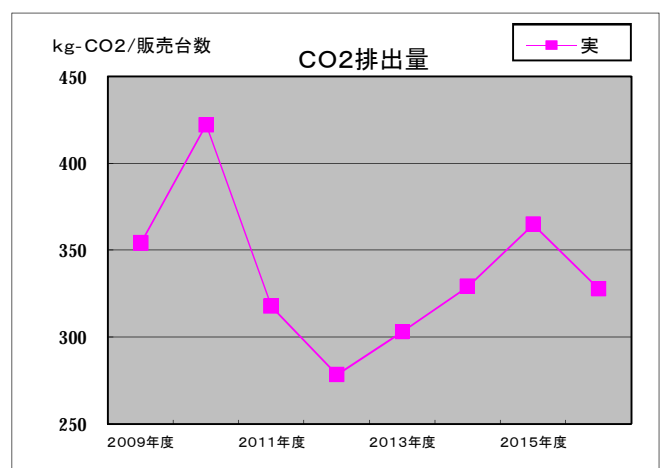
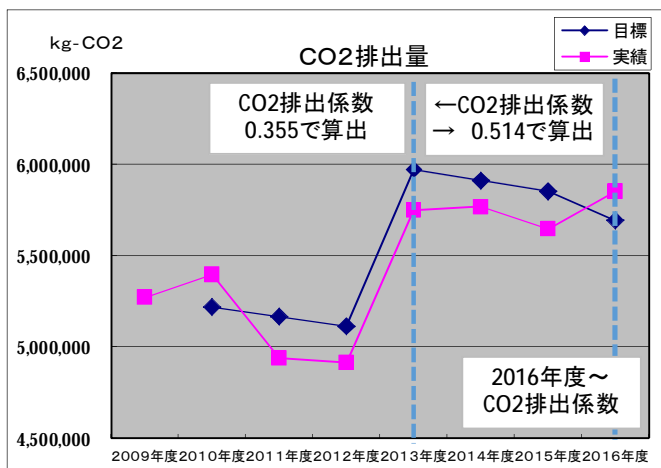
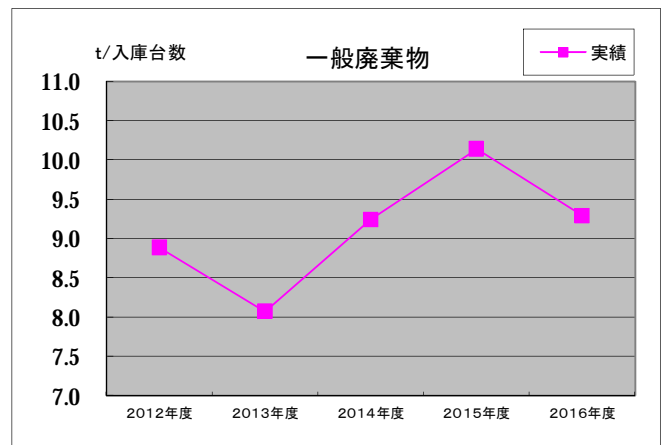
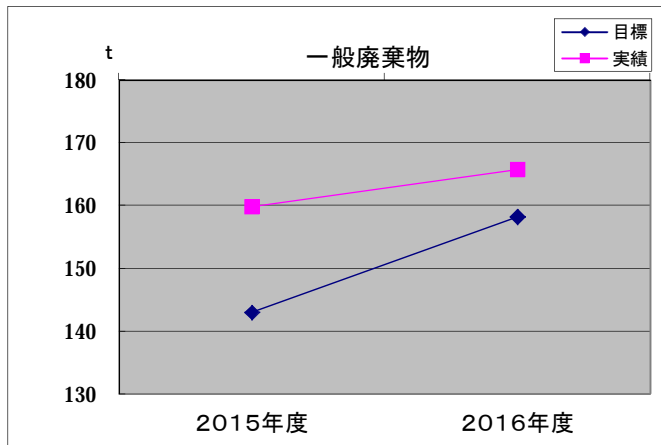
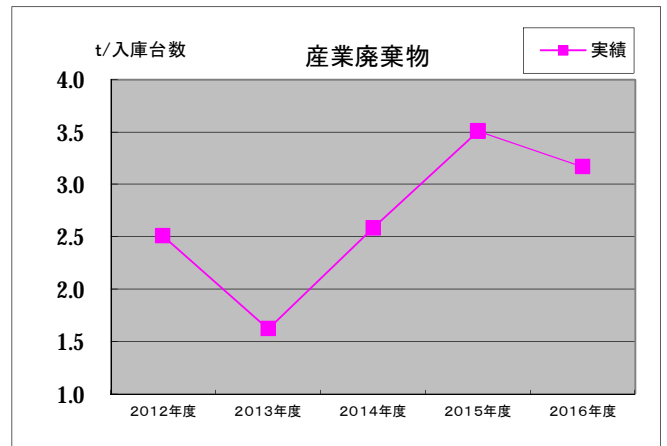
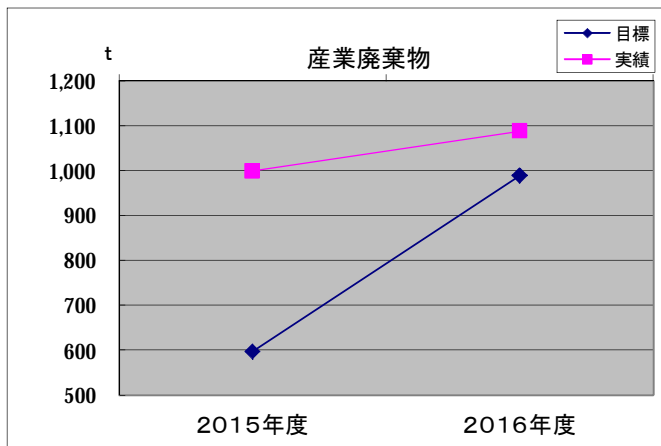
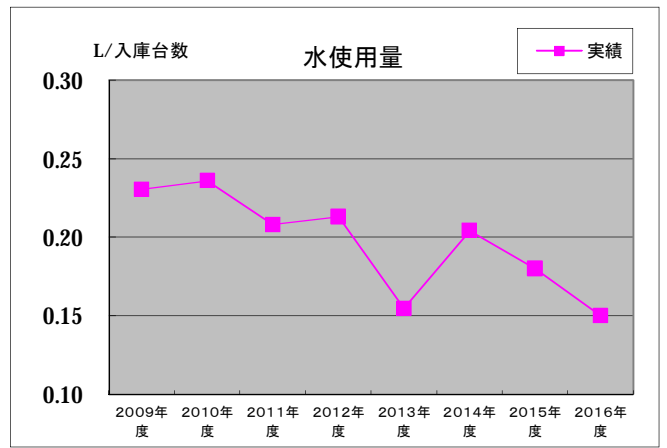
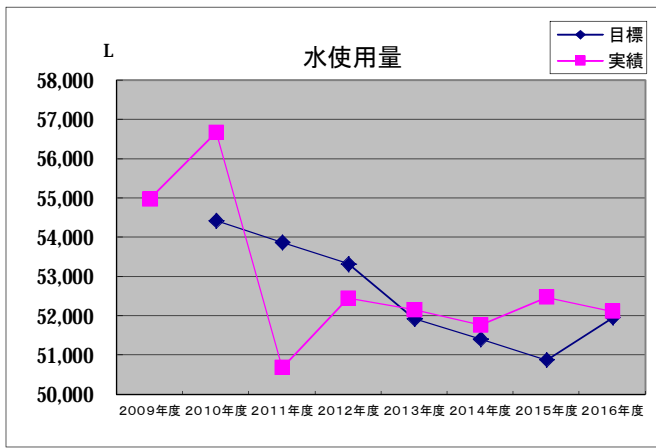


使用量総量の推移



原単位当たりの使用量実績推移







【7】2016年度環境目標取組み結果と評価

(1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売推進

①点検パック付保率の拡大

商談時において点検パックの積極的な加入促進を図った結果、基準年度の装着率は上回る事ができたが目標値を僅かに下回った。

②ハイブリッドフィルム装着率アップ

各社別には達成、未達成の状況にあり、残念ながらグループ全体としては目標装着率を達成できなかった。

(2) 電気使用量削減

全社にて以下の取組み等を推進したものの総量では目標値をクリアすることができなかった。しかしながら、使用量を販売台数1台当たり換算してみた場合、台当たり使用量は削減できており、一定の削減努力を示すことができた。

- ・事務所、工場の照明や設備・機器の節電
- ・広告塔照明・外構照明・ショールームオープン時間短縮の継続（20：00→19：00）
- ・クールアースデー ライトダウンキャンペーンへの参加
- ・クールビズ運動の実施（5月～10月）
- ・冷暖房室温管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）
- ・エアコンフィルターの定期的な点検・清掃の実施
- ・店舗ショールーム・事務所・工場照明のLED化推進（12店舗15箇所）

(3) 燃料使用量の削減

CO₂排出に多大な影響を及ぼすガソリンを中心に以下の取組みを推進した結果、使用量削減目標を達成することができた。

- ・TV会議の更なる有効活用（2店舗で増設）により移動燃料を削減
- ・効率的な営業活動、納車、引き取りの実施
- ・社用車（代車、試乗車）の運行管理の徹底
- ・店舗毎のガソリン使用用途別管理の徹底
- ・個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・エコ安全5か条推進（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速少ない運転、余裕をもった車間距離、
細やかな空気圧チェック）

しかしながら、BPセンター（板金工場）の本格稼働にあわせて輸送工数が増え、キャリヤカーの燃料である軽油については使用量増となった。

(4) 水使用量削減

洗車、工場清掃、洗濯時等における節水配慮や節水型洗車機への入替を継続的に行ってきたが、よりきめ細やかなお客様対応を目指す中、洗車機会が増加したことなどにより、総量では僅かながら目標値を達成することができなかった。が、総在庫台数1台当たりの使用量については、削減に結びつけることができた。

(6) 産業廃棄物の削減

全社において分別再資源化、排出量削減に向け取り組んできたが、店舗の建替や新築工事、リコールのご対応を推進する中、やむなく総量では産廃増加に繋がった。

(8) 一般廃棄物の削減

紙の使用量について、iPadの活用、会議資料のペーパーレス化推進、給与明細のWEB化を図ったものの、社員数や来店のお客様が増加したことも影響し、排出量の増加に繋がった。また、可燃ごみについては店舗努力の結果、削減することができたが紙類増加による一般廃棄物削減には繋がらなかった。

(10) 化学物質使用量の削減

鋳金塗装における水性塗料の使用頻度を増やすと同時に、無駄のない適正在庫管理の徹底やメカニクの技術力向上を図ったものの、在庫台数の増加に伴い使用量増加に繋がった。

(11) 環境関連法規、社内基準の遵守

環境関連法規、社内基準に対する未遵守はなかった。次年度以降も定期的な教育を実践していき法令順守に努める。

(12) グリーン購入について

各店舗において環境に配慮した商品の購入を推進したが、業務量増加に伴い、グリーン商品以外の使用頻度の増加により目標構成比をクリアできなかった。次年度以降はグリーン購入の意識を鈍化させず取り組み、目標値達成を目指します。

(13) 環境教育の実施

繁忙によって環境意識の低下にならないよう店舗における推進責任者に対する定期的な教育を実践していきグループ内意識の維持に努める。

(14) 二酸化炭素排出量の削減

CO₂排出に多大な影響を与えるガソリン使用量は削減できたものの、電力については、残念ながら総量では目標を達成できず、その結果CO₂削減目標の達成には至らなかった。しかしながら、総量での削減目標達成が厳しい状況の中、原単位当たりでの使用量に着目した場合は、ほとんどの目標項目で削減努力が確認できたので、次年度以降も、原単位レベルでの使用量削減にも着目しつつ、総量での削減を目指し、全項目での目標達成を目指していく。



【8】 2016年度～2018年度環境目標



当グループは環境負荷が大きい《エネルギー使用量》の把握をし、削減活動に繋がります。削減目標は各目標項目毎に毎年度1%に設定し、特に電力並びにガソリンについては、各社別の削減目標を設定し取り組みます。

- ・電力使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.3%、京都:△0.7%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.3%)
 - ・ガソリン使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.3%、京都:△1.0%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.2%)
- また、本来業務である整備業務において、環境負荷低減に繋がる営業活動を行います。
- ・点検パックの付保率について各社別に毎年度1%～3%向上
 - ・ハイブリッドフィルムの装着率について各社別に毎年度1%向上

(1) 環境負荷の状況及び環境目標

【近畿地区スバルグループ】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	85.8%	+1.2%、1.1%	87.1%	88.3%	89.4%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	7.6%	8.6%	9.6%	
電気使用量	Kwh	6,803,539	-1.2%	6,722,069	6,550,076	6,469,138	
燃料	ガソリン	リットル	769,119	-1.2%	759,642	761,877	752,217
	灯油	リットル	5,801	-1.0%	5,743	5,470	5,414
	軽油	リットル	50,096	-1.0%	49,596	48,479	47,985
	LPG	m3	6,314	-1.0%	6,251	6,171	6,107
	都市ガス	m3	84,215	-1.0%	83,373	82,697	81,853
水使用量	m3	52,478	-1.0%	51,953	52,846	52,308	
産業廃棄物	トン	1,000.0	-1.0%	990.0	979.2	968.8	
一般廃棄物	トン	159.8	-1.0%	158.2	156.9	155.3	
化学物質	kg	242.3	-1.0%	239.9	130.6	129.3	
グリーン購入	%	59.5%	+1.0%	60.5%	61.5%	62.5%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	5,761,034	-1.2%	5,692,144	5,600,465	5,531,457	

【大阪スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	84.4%	+1.0%	85.0%	86.0%	87.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	10.0%	11.0%	12.0%	
電気使用量	Kwh	3,590,264	-1.3%	3,543,591	3,496,917	3,450,244	
燃料	ガソリン	リットル	317,813	-1.3%	313,681	309,550	305,418
	灯油	リットル	738	-1.0%	731	723	716
	軽油	リットル	5,837	-1.0%	5,779	5,720	5,662
	LPG	m3	206	-1.0%	204	202	200
	都市ガス	m3	13,124	-1.0%	12,993	12,862	12,730
水使用量	m3	26,681	-1.0%	26,414	26,147	25,881	
産業廃棄物	トン	424.5	-1.0%	420.2	416.0	411.7	
一般廃棄物	トン	69.2	-1.0%	68.5	67.8	67.1	
化学物質	kg	44.8	-1.0%	44.4	43.9	43.5	
グリーン購入	%	57.9%	+1.0%	58.9%	59.9%	60.9%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,690,391	-1.3%	2,655,558	2,620,719	2,585,886	

【京都スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検パック付保率アップ	%	89.7%	+1.0%	91.0%	92.0%	93.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	6.0%	7.0%	8.0%	
電気使用量	Kwh	730,855	-0.7%	725,739	720,623	715,507	
燃料	ガソリン	リットル	99,426	-1.0%	98,431	97,437	96,443
	灯油	リットル	805	-1.0%	797	789	781
	軽油	リットル	9,303	-1.0%	9,210	9,117	9,024
	LPG	m3	5,554	-1.0%	5,498	5,443	5,387
	都市ガス	m3	26,609	-1.0%	26,343	26,077	25,811
水使用量	m3	5,726	-1.0%	5,669	5,611	5,554	
産業廃棄物	トン	220.2	-1.0%	218.0	215.8	213.5	
一般廃棄物	トン	29.8	-1.0%	29.5	29.2	28.9	
化学物質	kg	88.5	-1.0%	87.6	86.7	85.8	
グリーン購入	%	56.9%	+1.0%	57.9%	58.9%	59.9%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	735,948	-0.8%	729,756	723,563	717,369	

【滋賀スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検バック付保率アップ	%	81.1%	+3.0%、2.0%	85.0%	88.0%	90.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	5.0%	6.0%	7.0%	
電気使用量	Kwh	863,567	-1.0%	854,931	631,499	625,055	
燃料	ガソリン	リットル	74,095	-1.0%	73,354	64,465	63,807
	灯油	リットル	2,595	-1.0%	2,569	2,328	2,304
	軽油	リットル	8,867	-1.0%	8,778	8,074	7,992
	LPG	m3	194	-1.0%	192	171	169
	都市ガス	m3	97	-1.0%	96	95	94
水使用量	m3	5,607	-1.0%	5,551	4,367	4,322	
産業廃棄物	トン	66.7	-1.0%	66.1	44.7	44.2	
一般廃棄物	トン	20.9	-1.0%	20.6	18.9	18.7	
化学物質	kg	109.0	-1.0%	107.9	—	—	
グリーン購入	%	58.7%	+1.0%	59.7%	60.7%	61.7%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	661,722	-1.0%	655,107	513,247	508,008	

【兵庫スバル】

項目	単位	基準年度 (2015年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				(2016年度)	(2017年度)	(2018年度)	
点検バック付保率アップ	%	88.2%	+1.0%	90.0%	91.0%	92.0%	
ハイブリッドフィルム	%	—	+1.0%	5.0%	6.0%	7.0%	
電気使用量	Kwh	1,618,853	-1.3%	1,597,808	1,701,037	1,678,333	
燃料	ガソリン	リットル	277,786	-1.3%	274,175	290,425	286,548
	灯油	リットル	1,663	-1.0%	1,646	1,630	1,613
	軽油	リットル	26,090	-1.0%	25,829	25,568	25,307
	LPG	m3	361	-1.0%	357	354	350
	都市ガス	m3	44,385	-1.0%	43,941	43,663	43,217
水使用量	m3	14,465	-1.0%	14,320	16,721	16,551	
産業廃棄物	トン	288.7	-1.0%	285.8	302.8	299.3	
一般廃棄物	トン	40.0	-1.0%	39.6	41.0	40.6	
化学物質	kg	—	-1.0%	—	—	—	
グリーン購入	%	63.1%	+1.0%	64.1%	65.1%	66.1%	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,672,974	-1.3%	1,651,732	1,742,935	1,720,194	

※電気使用量のCO₂排出量の排出係数は関西電力公表の0.531にて算出。

※産業廃棄物は廃油、廃バッテリー、廃バンパーを含まない。

※化学物質はエチルベンゼン、トルエン、キシレンを対象としています。兵庫スバルは板金整備工場がない為、目標値の設定
滋賀スバル板金工場は2017年3月末閉鎖の為、2017年度、2018年度目標値はない。

※2017.3末で滋賀スバルの2店舗が閉鎖し、兵庫スバルが1店舗増設となった為、2017年度目標、2018年度目標を変更した

【9】2017年度環境活動計画の内容



2017年度は2016年度の実績を踏まえ以下の取組みを実施していきます。

(1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売推進

①点検パック付保率アップ

商談時において点検パックの加入促進を図り、お客様のお車に適正なメンテナンスを実施し、整備不良等による環境負荷増加を防ぎます。

②ハイブリッドフィルム装着率アップ

新車販売時にハイブリッドフィルムの装着を提案し、赤外線（熱線）カットによるより効率的なエアコンの使用となり燃料消費量を抑えることで環境負荷の低減を目指します。

(2) 電気使用量削減

全社にて以下の取組みを実施し、使用量削減、目標達成を目指します。

- ・ 事務所、工場の照明や設備・機器の節電
- ・ 広告塔照明・外構照明・ショールームオープン時間短縮の継続（20：00→19：00）
- ・ クールビズ運動の実施（5月～10月）
- ・ 冷暖房室温管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）
- ・ エアコンフィルターの定期的な点検・清掃の実施
- ・ 店舗・工場照明等のLED化推進

（和泉中央店、吹田店、帝塚山店、茨木店、平野店、岩出店、岸和田店、西店、山科店、堅田店、大津店、守山店、伊丹店、川西店、灘店、三田店、加古川店、高砂店、豊岡店 計19店舗）

(3) 燃料使用量の削減

CO₂排出に大きく影響するガソリンを中心に以下の取組みを推進し、使用量削減に繋がります。

- ・ TV会議の更なる有効活用
- ・ 効率的な営業活動、納車、引き取りの実施
- ・ 社用車（代車、試乗車）の運行管理の徹底
- ・ 店舗毎のガソリン使用用途別管理の徹底
- ・ 個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・ エコ安全5か条推進（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速少ない運転、余裕をもった車間距離、細やかな空気圧チェック）

又、効率的なキャリヤカーの使用による軽油使用量の削減や灯油、都市ガス、LPGガスについても使用量削減を目指します。

(4) 水道水使用量削減

以下の取組みを継続推進することで使用量の削減を図ります。

- ・ 洗車、工場清掃、洗濯時の使用配慮等拠点節水意識の強化
- ・ 店舗別使用実績管理の徹底
- ・ 門型洗車機入替時に節水タイプを導入（長岡京店、宝塚店）
- ・ トイレ自動手洗いの導入推進

(5) 産業廃棄物の削減

以下の取組みを推進し排出量の削減に繋がります。

- ・ 分別再資源化の取組みの徹底
- ・ 各社別、各店舗別の削減目標の設定と進捗管理
- ・ 廃バンパー、廃バッテリー、廃アルミホイールの有償販売の定着

- (6) 一般廃棄物の削減
紙の使用量については、引き続き i Pad を活用した会議資料のペーパーレス化等使用量の削減を徹底していき、又可燃ごみについては店舗努力を推進していきます。
- (7) 化学物質使用量の削減
鋳金塗装における水性塗料使用の定着化と無駄のない適正在庫管理の徹底、メカニクの技術力向上を図り、化学物質（エチルベンゼン、トルエン、キシレン等）の使用量削減を目指します。
- (8) フロン排出抑制
店舗におけるエアコンについて日常的、定期的な点検を実施し、効率的な使用、フロン漏洩防止に繋がります。
- (10) 環境関連法規制の遵守
環境関連法規制並びに環境に対する社内基準に未遵守がないよう取り組みます。
- (11) グリーン購入について
引き続き事務用品を中心としたグリーン商品の購入を推進していきます。
- (12) 環境教育の実施
若年の店舗責任者や管理職、新入社員への環境教育を継続的に実施し、グループ全体の環境意識の底上げを図っていきます。
- (13) 二酸化炭素排出量の削減
各目標項目について総量での削減が益々厳しくなる状況にあるが、2017年度は上述の基本的な取組みを継続的に実施していき、特にCO2排出量への影響が大きい電力、ガソリンについては注力し取り組み、総量削減、CO2削減に結び付けていきたい。また、総量での削減のみならず、原単位レベルでの使用量削減にも着目し管理していくことで、近畿地区スバルグループ全体のCO2削減に取り組んでまいります。

【10】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項
水質汚濁防止法	自動車自動洗浄装置の届出
下水道法	排水施設の設置義務 自動車自動洗浄装置の届出 油水分離槽水質検査の実施
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理とマニフェストの交付 マニフェスト交付状況報告書の提出 廃棄物処理業者との委託契約 特別管理産業廃棄物（バッテリー）の適正保管・処理
消防法	少量危険物貯蔵所の届出 緊急事態対応訓練の実施
騒音規制法	コンプレッサ・送風機の届出
振動規制法	コンプレッサ・送風機の届出
P R T R 法	指定化学物質（キシレン、トルエン等）の基準値以上の取扱量の場合に行政に報告
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検
P C B 廃棄物特措法	P C B 廃棄物（変圧器）の適正保管・処理
労働安全衛生法	健康障害防止対策、安全衛生委員会設置・運営 ストレスチェックの実施、リスクケアアセスメントの実施
地球温暖化対策条例等	アイドリングストップ、温室効果ガス排出抑制、エコドライブ推進

(2) 違反、訴訟等

当グループ各社における環境関連法規への違反はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

【11】代表者による全体評価と見直しの結果

CO₂排出量への影響度が大きいガソリン使用量については、削減努力の結果、総量での削減目標をクリアすることができましたが、一方で来場者数や社員数の増加に左右される電力の使用量が増加したことによってCO₂排出量目標は未達となりました。しかしながら、販売台数当たりでの使用量に着目してみると電力やLPGを除く燃料系全項目で使用量削減ができており、来年度以降総量削減が益々厳しくなるであろう状況下では、総量での使用量管理のみならず並行して原単位での使用量管理も徹底していき、可能な限り環境負荷削減に取り組んでまいります。